

新春対談

ミライに
つなぐ

市では若者のまちづくりへの参画を推進するため、U29チャレンジ事業をスタート。令和6年度は5組の団体が採択され、新しい視点や価値観で地域活動に参画しています。今回は新しい取組を提案してくれた2団体と市長が、まちづくりについて語り、意見交換をした対談内容をご紹介します。

U29チャレンジ事業
詳細はこちら▶
市



U29チャレンジ事業

Q&A

西東京市長
池澤 隆史

Q1

なぜ、U29チャレンジ事業に応募してくれたのですか？

Q2

皆さんは地域でさまざまな活動がされていると聞いていますが、どんな活動が多いですか？また、どんなところにやりがいを感じますか？

Q3

企画を考えるときに重視したことは？

Q4

実際に地域活動として実施してみての感想は？

Q5

多くの若い人がまちづくりに参加するには何が必要だと思う？

Q6

いま西東京市に最も必要だと思うことは何？

対談内容の全文はこちら▶



市

楽しいから始まる。笑顔があふれる、わたしたちのまちへ。



FUTATABI

地域文化をテーマに、教育事業を通じて地域に貢献する

地域文化は心の豊かさや地域社会の連携の強さにつながるため、ワークショップやイベントを通して伝える活動を実施しています。

A1

佐藤さん 私は昨年も地域事業に参加しました。ナスの皮を使った草木染めを行ったのですが、子どもたちの笑顔や保護者の方に感謝の言葉をいただいたのが忘れられず、今回もやってみようと思いました。



A2



佐々木さん 昨年夏に藍染めと、きりたんぼづくりの体験会を開催しました。他地域の文化を通じ、西東京市を好きになってもらう目的です。ほかの地域の話にいい反応があったのがうれしかったですね。

A3



阿部さん ゲームやアニメが好きで子どもが多いのですが、親世代だと理解できないこともあります。そこでイベントに参加した親子が家に帰って共通の話ができる企画を考えることを重視しました。

A4

伝統文化を通して
西東京市との違い発見

阿部さん 参加してくれた地域の方の温かさを感じました。年配の方も若い世代のアイデアを受け入れてくれて、その上で自らの意見を発信していただけたのがうれしいですね。



A5

佐藤さん 継続的な学びが必要ではないでしょうか。U29チャレンジ事業は20歳前後の世代が中心に活動していますが、小学生から継続的に学べる場を提供できるような体制を構築したいと思います。

A6

佐々木さん 市民の方が能動的に地域のために動けるきっかけをつくる必要があるかなと思います。皆さんが自分ごととして考え、自分から動き出すきっかけをつくることであれば理想的ですね。

ミッドナイトスクール

声のチカラで、まちも人も元気にする

都内在住の現役大学生が「チャレンジ」をテーマに、学生目線で、今気になることを話すトーク番組を企画・制作し放送しています。

A1

矢野さん 応募のきっかけは、エフエム西東京の方から「市で新しい事業があるので応募してみたら？」と教えていただいたことです。ちょうど、今の活動の集大成として「新しいこと」をしたいと思っていたこともありです。



A2



野内さん 大学生が集まりエフエム西東京で番組を担当しています。今年は、いろいろな団体の方をゲストに招いたことで、放送内容や活動幅が広がるとともに視野の広がった1年でした。声だけで伝えることで、リスナーの想像に委ねる部分も大きいのがラジオの魅力です。幅広い年代の方に「聴いているよ」と声をかけていただくことも増え、地域とのつながりを感じることができています。

A3

矢野さん 「大学生×ラジオ発信」この2つの良さを盛り込むことを考えました。声だけだからその表現の幅や広さをフル活用して、さまざまな世代が関わることや、つながりが生まれるように企画しています。

A4

矢野さん 市の事業に参画したことで、リスナーの声を直接聞く機会が増えました。感想を聞くたびに、自分たちの声が本当に届いていたんだと感慨深いです。私もラジオに助けられた時期があり、一人でも多くの方に寄り添える発信を続けたいです。

西東京市魅力発信
ラジオCM

ラジオCMはこちら▶



A5

野内さん きっかけづくりと発信方法が重要かも。「〇〇しませんか？」と言っても、今の若者には響かない気がします。一目見て「面白そう」「やってみよう」と能動的に参加したくなる発信。文字よりも画像や映像が効果的です。

A6

野内さん 無料で使える大学生の居場所がほしいです。中高生と大学生と一緒に話せる場所として活用できれば、世代間交流をしながらお互いに学ぶことができます。近い世代で第三者にだから話せる悩みもあります。

エフエム西東京マスコットキャラクター「ラジオ」



市長メッセージ

新年を迎えるにあたり、西東京市で活動する若者と直接対談できたことは非常に有意義でした。斬新なアイデアや地域に対する情熱に触れることで、私自身も新たな視点を得られました。

FUTATABIやミッドナイトスクールの皆さんをはじめ、多くの若者がさまざ

／ その他3つの団体を紹介 ／



NST Non-profit Student Team

現在、高校生3人で立ち上げた新たなグループ。今回が初めての活動なので、まずは継続して地域で活動していくことを目指していきたいと考えています。

活動テーマ：「自らが楽しむこと」を大切に

子どもから大人までが白熱「踊る大水合戦」

夏といえば水鉄砲！



誰でも参加できる大規模で楽しいイベントを企画。子ども大人も楽しめるサバイバルゲームの実現に向け、障害物にこだわり、安全面を考慮しつつ盛り上げられる水鉄砲を使用。当日は16組総勢100人以上が集まり盛り上がりました。



早稲田大学 地域連携コミュニティ 結の芽

現在、早稲田大学「地域連携カテゴリー」は、約400人規模のコミュニティ。今回は、大好きな地元で挑戦したいという想(おも)いから高校の同級生2人で「西東京のまちを再編集するメディア」をテーマに企画を提案。西東京市の皆さんに魅力を再認識してもらえきっかけを創出していきます。



活動テーマ：地域とつながり、地域に飛び出す

西東京市PR動画「One Scene」

市民の皆さんから専用フォームで送っていただいた「西東京市のいいな」をInstagramの6秒動画で紹介しています。また、PR動画は現在制作中で、3月の完成を楽しみにしていただきたいです！

3月末完成予定

Instagram

Instagram



NPO団体 MURP Make Unite Regional Party

活動テーマ：世代や地域の壁を飛び越える

田無駅南口初！ミニクリスマスマーケット

12/23～25実施済

「つながりの場をつくること」に重点を置くほか、「田無駅南口の整備後イメージの見える化」を目指して企画。イルミネーションを含む会場装飾はもちろん、MURPの新たな一面が見えるイベントとなり、幅広い世代の方がつながり、楽しめるイベントに。



まなことにチャレンジし、地域活性化や環境問題などの地域課題と一緒に考え、より良くしていこうという想いにとても感銘を受けました。

今後も、若者たちの意見を行政運営に反映させることで、市全体の活力を高められると確信しましたし、これからも積極的に多くの市民の方々と対話を重ね、市民一人ひとりが輝けるまちづくりを目指します。

新年の始まりに、ミライに希望と前進の一步を感じられる対談でした。